

今の幸せを大切に

相洋中学校 二年 橋本 千昌

「将来の為に頑張りました。」

皆さんは、大人にそう言われたことがありますか。将来を見据えて努力をすることは、とても素晴らしいことだと思います。ですが、将来のことを考えるあまり、今を蔑ろにしてはいませんか。

私は小学校四年生の時に、起立性調節障害という病気を発症しました。この病気は、低血圧のため、朝に起きられなくなったり、めまいや頭痛などさまざまな症状を起こしたりします。

どんどん体調を崩していった私は、それまで当たり前にできていた、朝に起きて、学校へ行つて、友達と遊んで、夜には眠るということができなくなりました。

そして私は、強い焦りと将来への不安に苦しんでいました。

私の生活に転機が訪れたのは、母に勧められてフリースクールに行つたときでした。フリースクールの先生は、私に「ゆるゆるの一步一步でいいよ。」と言いました。私はずっと頑張らないといけないと思っていたので、そう言われた時とても驚いたのと同時に肩の荷がフツとおりました。先生の言葉のおかげで私は安心して心と体を休めることができました。

また、先生は学力ではなく、私自身の感性や優しさを肯定してくれたことがとても嬉しく、心と体に余裕が生まれてきて、学校にも少しずつ通えるようになりました。

この経験を通して私が主張したいことは、皆さんは今でも十分に頑張っているということです。

昔の私は将来という不確かなものを過度に不安視して焦っていました。そして、今感じている苦痛やストレスを蔑ろにしてしまっていました。自分は努力が足りないと思つて、無理をしていました。

ですが、この経験を通して当たり前のことを当たり前にすることが、どんなに難しく、どんなに大切なことかを知りました。

私が当たり前を取り戻せたのは、病気を理解してくれた両親や、自身のことを見てくれたフリースクールの先生、そして温かく私を受け入れてくれた小学校の先生と同級生のおかげです。

将来のための努力も大切なことですが、今の幸せを蔑ろにしている、いつまでたっても幸せにはなれないと思つています。

だからこそ、皆さんにも無理をしないで、今の自分を大切にしたい。

い
で
す。